

雫石町コミュニティ・スクール通信

雫石町教育委員会 令和 4年 12月21日発行

美しく心地よい七ツ森森林公園へ、七ツ森小児童と地域住民でツツジ 100本を植栽

2022 七ツ森ワークショップ開催

11月26日(土)、七ツ森小学校の児童(有志11名)が、「七ツ森ワークショップ」に参加しました。この日は行政区長や、森林関係者、七ツ森小学校学校運営協議会委員などおよそ50名が集まり、ヤマツツジの植栽を行いました。

七ツ森小学校の学校運営協議会では、「児童の自己肯定感を高める為にどんなことができるか」を地域と学校の共通のテーマとして話し合いをしました。町の農林課から「七ツ森



この時期に植えると、霜柱で浮いてくるので、しっかりと踏み固めることを教わりました

ワークショップ」の提案があり、児童と地域の方が植樹したツツジの花が人々に癒しを与え、大人になっても故郷を誇りに思う活動になるのではと、学校運営協議会として共催することに決めました。

七ツ森ワークショップとは

雫石町と岩手県緑化推進委員会雫石支部が、住民と一緒に雫石の森林資源を守り、森林を育てるため、6年ぶりに七ツ森森林公園入口付近に「ヤマツツジ 100本」の植栽を行う「七ツ森ワークショップ」を開催しました。これは雫石の豊かな森林資源を次の世代に引き継いでいくための取り組みです。

七ツ森は宮沢賢治の文学作品のゆかりの地のひとつとして平成17年3月に「イーハトーブの風景地」として国の名勝に指定されました。住宅地にも近く国道46号線に面しているながら国の名勝のひとつにもなっている七ツ森は町民の財産です。

僕は1年生の時にこの活動に参加して6年生になって2度目です。今日、地域の方や先生方と一緒にツツジを植えて楽しかったです。これからもずっと続けていきたい活動です。



6年 いわいけいと
岩井慧杜さん

荒木田校長先生は、七ツ森小学校には学校林がないので、児童が森林について学ぶ機会になって欲しい。来年度からは学校運営協議会の軸となる活動として参画していきたいと話します。七ツ森小学校は5月「宮沢賢治を語る会」のみなさんと、賢治作品にも登場する「おきな草」を植える活動も行っています。児童の学びにもなり、地域の自然・景観を守り育む活動になっていくことが期待されます。



5月〜6月に46号線沿いに、赤色、朱色、白色のヤマツツジが開花します





本格餅つきと振る舞い餅

12月16日（金）雫石中学校3年生は「地域の伝承と行事食、刈上げ餅」の体験講座を行いました。岩手県食の匠の櫻田シゲ子さんと、桐山桂子さん、役場職員が講師として教えてくださいました。3学年PTA行事も兼ね、5人の保護者が振る舞い餅の手伝いをしました。生徒は、町内の米農家（階保さん）から新米のもち米を提供いただき、櫻田さんから地域の伝承行事「刈上げ餅」の行事に込められた意味を学んで、餅つきを行いました。つ



クラスごとに餅つき！ヨイショ～！

きたての餅は、鶯宿の「餅工房むらかみ」からくるみと胡麻を提供いただき、きな粉、あんこの4種類をからめ振る舞われました。その後、校長先生と学年PTA会長坂井一博さんによる餅まきが行われ、生徒たちは歓声をあげながら餅を拾い、受験勉強のストレスを発散させました。諏訪由奈さんは「みんなで餅をついて盛り上がり、団結も深まって楽しい！」と話し、餅を10個食べた女子もいたり、伝統行事を楽しみました。3年生は「節目」としての伝統行事を体験し、それぞれの進路に向けて受験勉強の「餅バージョン」も一層高まったことでしょう！

刈上げ餅とは・・・

一年の農作業の無事に感謝し、収穫を祝い、餅をついて食べる神事



餅をふるまう割烹着姿の生徒たち



給食も食べたけど、餅は別腹！

西山小学校 防災学習

岩手山の火山活動や火山災害について学ぼう

11月24日（木）、西山小学校5年生と6年生は、小原千里さん（七ツ森在住）を講師に、岩手山の火山活動について学びました。小原さんは県の地域防災サポーターとして活動し、ヘリコプターによる岩手山上空からの観察や、現地での火山活動の調査を続けています。児童は岩手山をふるさとの山として親しんでいます、岩手山が活火山であることを学び、火山防災について考える機会となりました。

後日、児童は地震や火山噴火、水害などの災害が起きた時、どこに避難するか、連絡はどうするかなどを各家庭で話し合い、学校での学びを家族とも共有しました。12月1日（木）には災害時を想定した引き渡し訓練が行われ、有事の際の学校と家庭の連携を改めて確認しました。

来年10月、雫石町を会場に「全国砂防フォーラム」が開催され、西山小学校の児童の発表も予定されています。西山小学校学校運営協議会でも「防災」について、地域との連携・協働に向けての意見が出されました。これから「防災」を学校と地域の共通のテーマとして取り組んでいくことが期待されます。



小原千里さんから噴火の仕組みを学ぶ児童